

## 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立日吉台小学校

### 【調査目的】

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 【結果について】

#### 〈概要・強み弱み〉

国語では、「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」についての正答率が全国・県平均に近い結果となった。特に、「書くこと」についての無回答数は少なかった。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」についての正答率が全国・県平均を下回った。記述問題のような課題にも向き合い、表現する力が身につけていることが強みとしてあげられる。一方、漢字・言葉といった知識を問う問題や、双方向のやりとりをもとに、会話の流れや話し手の意図を読み取るような問題には課題が見られた。

算数では、どの項目においても全国・県平均を下回った。角度を求める問題、単純なわり算などへの正答率は比較的高く、強みとしてあげられる。一方、分数・小数・割合といった、基本的な数概念の理解や、場面に応じて計算を組み合わせて課題を解決する問題には課題が見られた。

理科では、「エネルギーを柱とする領域」の正答率が全国・県平均に近い結果となった。「地球を柱とする領域」の正答率が全国・県平均を下回った。顕微鏡の使用法、回路など、実験を通して学習したことに関しては知識が定着しており強みとしてあげられる。一方、物や部位の名前といった知識を問う問題や、実験を行う際に、自分で問いを立てたり、条件を制御したりといった、課題解決のための手順や意図に関する問題には課題が見られた。

質問紙調査では、「困りごとや不安があるときは、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」という質問に対する肯定的回答率が全国・県平均より上回った。大人とのつながりに安心感を持っていることが強みである。一方、友だちや将来のことに対する何らかの不安感を感じていること、家庭学習の時間が全国・県平均と比べて短く、学習への興味関心や必要感に課題が見られた。

### 【指導の充実に向けて】

- ◇各教科における学習を支える基礎学力の定着を図ります。漢字、計算、語彙などの知識を身に着けるために、学習したタイミングで十分定着を図るとともに、学年が上がっても復習の機会を保障していきます。
- ◇基礎学力を生かす場面、応用・発展課題への挑戦の機会を設けます。話し合い活動では、意図や目的を持たせたり、理解度確かめたり、意見の妥当性を検討したり、意見に対する自分の考えを述べたりすることを大切にします。また、収集した情報をもとに、考えを作り出す機会の保障をします。（日記、作文、新聞ワークシートなど）
- ◇一人ひとりが自信を持って主体的に取り組めるようにするために、学習やコミュニケーションの土台となる「読む・見る・数える・記憶する・写す・想像する」力の育成に努めます。
- ◇読書する習慣を身に着けるだけでなく、読書を楽しんだり、学習との関連を図り「必然性のある読書活動」をしたりするための支援を続けます。